

令和7年度（2025年度）

事業計画

学校法人 日本社会事業大学

目 次

第1 令和7年度（2025年度）事業計画の基本的考え方

(1) 本年度計画と中期計画	1
(2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み	1
(3) 目標設定の考え方とPDCA	1

第2 全学的な取り組み

(1) 学科名称変更の周知と準備	2
(2) 創立80周年記念事業に向けた取り組み	2
(3) 志願者確保対策の強化	2
(4) 入試広報体制の強化	2
(5) 教務システムの刷新	3
(6) 学生支援策の強化	3
(7) 国際協力の推進	3
(8) 社会貢献の推進	3
(9) 危機管理体制の整備等内部統制システムの構築	3
(10) ITガバナンスの構築	4
(11) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化	4
(12) 内部質保証のための取り組み	4

第3 各組織における取り組み

(1) 学長室	4
(2) 社会福祉学部	5
(3) 研究大学院	6
(4) 専門職大学院	7
(5) 通信教育科	7
(6) 社会事業研究所	8
(7) 図書館	8
(8) 子ども学園	9
(9) 法人本部	9

(参 考)

1	設置の場所	1 1
2	学生の修業年限・規模等	1 1
3	授与する学位	1 2
4	教育組織図	1 2
5	主要事業実施日程	1 3
6	令和8年度入学者選抜の実施	1 4
7	令和7年度学長室組織図	1 6

第1 令和7年度事業計画の基本的考え方

(1) 本年度事業計画と中期計画

本年度事業計画は、令和4年度より始まった第4期中期計画における4年目の目標と取り組みを定めるものである

(2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み

本年度事業計画では、中期計画に盛り込まれた内容を全学的に取り組むべき事項と組織ごとに取り組むべき事項に大別し、それぞれ本年度中に実現すべき目標と取り組みを定めている

(3) 目標設定の考え方とPDCA

上記の目標には、定性的な目標だけでなく、なるべく具体的な内容を盛り込むとともに、その実績は毎年度の事業報告で評価・公表し、次年度以降の事業計画に反映させることによって、中期計画におけるPDCA(Plan Do Check Action)サイクルを完成させることとしている

第2 全学的な取り組み

(1) 学科名称変更の周知と準備

令和8年度から社会福祉学部の福祉計画学科及び福祉援助学科の名称をそれぞれ「共生社会デザイン学科」及び「ソーシャルワーク学科」へ変更することとともない、変更が円滑に行われるよう学内外の関係者への周知の徹底と諸準備を行う

(2) 創立80周年記念事業に向けた取り組み

令和8年(2026年)、本学は創立80周年を迎えることから、学内に設けた80周年記念事業準備委員会を中心に各種記念事業を逐次実施していく

また、これに合わせて本学公式ホームページに設けた80周年記念サイトにおいて、本学の歴史、現状などを逐次掲載し、本学の魅力を改めて発信するとともに、本学の認知度の一層の向上を図っていく

また、同窓会の支援を受けつつ、80周年を記念した本学の教育・研究機能の向上等のための寄附金募集を開始する

(3) 志願者確保対策の強化

一昨年度から逐次実施してきた総合型選抜入試や指定校推薦選抜入試制度の導入などの入試制度改革の成果を検証しつつ、新たに共通テスト利用選抜に後期日程を追加するなど、入試制度の一層の改善を目指すとともに、オープンキャンパスの一層の充実、高校訪問の拡充など、志願者確保に向けた体制の強化に取り組む

(4) 入試広報体制の強化

受験生・保護者に対し本学の魅力をよりの確に伝えていくため、ホームページの一層の充実、SNSの活用等に努めるほか、交通広告、いわゆる赤本の頒布、積極的な高校進路指導担当教員への働きかけ、同窓会への協力依頼など、積極的な入試広報活動に取り組む

(5) 教務システムの刷新

新教務システムについては、約2年をかけ学内意見の集約、必要な仕様書作成、企画コンペを通じた関連業者選定などを行ってきたところであるが、今後は、学内関係部局の連携の下、令和8年度の新システム導入に向け具体的なシステム構築作業を行う

(6) 学生支援策の強化

昨年、改正「障害者差別解消法」が施行されたことに伴い、本学に新たに設けた「障害学生支援室」を中心に、障害学生に対する相談・支援体制を一層強化する

また、メンタルヘルスの不調に関する学生相談が増加しているため、専門相談員によるケースカンファレンスやスーパービジョンの充実・強化に一層努める

また、サークルやボランティア活動、大学祭等を通じて、学生同士の繋がり、多面的な人間形成の場が活性化されるよう必要な支援を行う

(7) 国際協力の推進

オーストラリア(ニューサウスウェールズ大学)との交流事業の他、環太平洋セミナー、国際研究交流会等を通じて、諸外国の社会福祉関連機関及び大学等との研究交流関係のより一層の拡大、強化に努める

(8) 社会貢献の推進

清瀬市三大学連携事業「清瀬アカデミア」を引き続き実施するほか、清瀬市商工会や地元企業との産学連携を通じて本学の地域貢献、プレゼンスの一層の向上を目指す

(9) 危機管理体制の整備等内部統制システムの構築

新型コロナウイルスの勃発を含めた様々なリスクにも対応できるような危機管理体制の整備など、改正私立学校法等の施行を踏まえた内部統制システムの構築

を行う

(10) IT ガバナンスの構築

情報化の推進とともに、情報セキュリティを全学的に統治するために CIO (Chief Information Officer:最高情報責任者)や CSIRT(Computer Security Incident Response Team: コンピューターに関するセキュリティ事故対応チーム)の設置などを含めた IT ガバナンスの構築を目指す

(11) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化

対面型のハラスメント研修の実施のほか、リーフレット配布等を通じたハラスメント相談員の周知などに一層努める

(12) 内部質保証のための取り組み

内部質保証における PDCA サイクルを確保するため、毎年度、「自己点検・評価検討委員会」において自己点検・評価を実施し、その結果を報告書としてとりまとめ公表する

また、令和4年度に実施された大学機関別認証評価によって指摘された改善事項について、その対応状況報告書を提出する

第3 各組織における取り組み

(1) 学長室

- ① 社会福祉研修センターにおいては、国の制度改正の動向、受講生のニーズの変化を踏まえ、研修をより時宜に適った魅力的なものとしていくため、講師陣の一層の充実などに努めるとともに、受講生の新規開拓に努める
- ② 未来ビジョン推進センターにおいては、引き続き社会のデジタル化に対応した福祉分野の教育研究のあり方について検討する

また、DX時代に即したリカレント教育推進のための体制整備について検討する

- ③ 多心型福祉連携センターにおいては、いかに多様な主体が対等の立場で自発的に連携、協力、補完し合いながら地域社会が抱える福祉問題を解決していくべきかを研究するため、引き続き具体的なテーマとして「環境・災害と福祉の予防的支援の在り方」を取り上げ検討する

また、引き続き農林水産省の都市農業共生推進地域支援事業補助金を元に、援農ボランティア育成等、農的空間のコミュニティ機能向上促進事業を行う

(2) 社会福祉学部

- ① 社会福祉学部学科名の変更に合わせ、学科体制(コース制など)、資格課程、カリキュラムなどの在り方について抜本的な見直しを行うため、学部教授会に関係委員会等を設置する
- ② 国立看護大学校、明治薬科大学及び本学との間で結ばれている「三大学包括連携協定」に基づき、2024(令和6)年度に開設・実施した新設科目「清瀬市内大学合同プログラム(多職種協働)」「サマースクール」をさらに充実・発展させる
- ③ 2024年度、年内合格者(総合型、学校推薦)を対象に実施した「社大入学前セミナー」を推進し、入学前教育のさらなる充実を図る
- ④ 重点指定校との高大連携協定を推進し、高大連携事業の拡充・発展をはかり、高校との相互交流・相互理解を通して、入学者確保、教育内容の向上、社会貢献などを進める
- ⑤ 学生ひとり一人がリラックスしながら自主的に学べるソファ、カフェ風の小テーブル、電源などを備えたラウンジ型学修空間を整備するなど学修環境の改善に努める
- ⑥ 学生の主体的な学修と対話を通じた学び合いを促進する新たな場として、ラーニング・コモンズ(グループワーク用の電子ホワイトボード、ディスカッション

スペース、ICT 機器などを備えた学修空間)の設置について検討する

- ⑦ 社会福祉士等国家試験を目指す学生に対しては、新カリキュラムの実施に伴う国家試験の変更点などの受験関連情報の提供を行うほか、国家試験対策委員会やゼミ教員と連携しながら積極的なアウトリーチ支援に取り組む
- ⑧ 就職相談の早期受け入れなど、就職対策をより早期から実施していくとともに、求人票やガイダンス予約・参加履歴等をより効率的に学生指導に活用できるよう「キャリア支援クラウドシステム」の円滑な運用をめざす
- ⑨ 卒業を控えた学生に対しては、その者の適性に合った進路・就職相談が十分できるような体制を整備するほか、公務員試験志願者に対しては採用試験の動向に即応した指導体制の下、SPI(適性検査)やプレゼンテーション・面接対策講座の充実などを図っていく

(3) 研究大学院

- ① カリキュラムをより魅力あるものにしていくため、その内容は常に見直し、必要に応じて再編を積極的に行う
- ② とくに「Evidence に基づいた政策形成に資すること」を目指し、福祉プログラム評価履修コースの内容をより充実したものとするとともに、本大学院が重点的に取り組んでいる「質的・量的調査法・分析法」に関するカリキュラムの拡充を図る
- ③ 遠隔地から入学した大学院生、仕事と両立を図る大学院生向けにオンラインを活用した教育の拡充を図る。また、他大学との単位互換の拡大を検討するとともに本学専門職大学院との連携の強化を図る
- ④ 令和7年度(2025年度)から外国人留学生入試が導入されたが、その周知と円滑な実施にできるだけ努める
- ⑤ 本学学部生への大学院関連の情報提供や大学院プログラムに参加できる仕組み作りを通じて、学部学生からの入学者増大を図るほか、同窓会とも連携し、卒業生への情報発信を通じた入学者の増大を図る

⑥ 大学院研究科と社会事業研究所との一層の連携を進める

(4) 専門職大学院

- ① ホームページの充実等の広報活動やリカレント講座及び福祉実践フォーラムの開催等を通して、「指導的立場にある実践者の学びの共同体」としての本専門職大学院の魅力をより幅広く人々に発信し、入学者の増大に努める
- ② 教員の派遣等を通じて学長室社会福祉研修センターとの連携を一層図るとともに、地元自治体等地域社会への貢献・協力を努める
- ③ 本大学院修了後も情報交換等を通じ修了生間の人的交流を促していくため、昨年の本大学院創設20周年記念事業により強固となった「修了生ネットワーク」を積極的に支援する
- ④ 新教務システム導入に合わせ、本大学院の教務システムの改善を図るとともに、必要な教室機材の整備を進める

(5) 通信教育科

- ① 今後の社会のニーズ、社会状況の変化等を勘案し、各課程の定員等の見直しを検討する
- ② ホームページ、チラシ等を通して、本通信教育科独自の魅力ある通信教育システムをより積極的にアピールしていく
- ③ とくに、本通信教育科が長年進めてきた対面での授業の特色・メリットを志願者に分かりやすく伝えるとともに、入学者のニーズに合ったカリキュラムの見直しを逐次行っていく
- ④ 入試説明会では、対面によるほかオンラインによる入学志願者の質問や相談に応じるとともに、出願書類をより分かりやすいものとするなど、入学志願者の便宜の向上に努める
- ⑤ また、本学卒業生(学部・大学院・通信各課程)が通信教育科に再入学す

る際には入学検定料を免除することを検討する

(6) 社会事業研究所

- ① 学内・学外の共同研究や国内外との研究交流を一層進めるとともに、その成果をより積極的に公表する
- ② 院生個々の研究活動に対する外部助成金(日本学術振興会特別研究員等)の獲得に向けて、「学生研究活動補助金制度」を募り支援する
- ③ 文部科学省や厚生労働省の科学研究費補助金、生活協同組合等民間団体からの外部資金の獲得に一層努める
- ④ 本学の研究倫理規範及び関連規程に基づき、コンプライアンスを遵守し、研究倫理の向上に努める
- ⑤ 国際・アジア福祉研究教育センターを拠点とする国際交流事業(環太平洋社会福祉セミナー・国際研究交流会等)を通じ、より多くの海外研究者との交流機会を設ける
- ⑥ 本学「研究紀要・大学創立 80 周年記念特集」の発刊に向けて準備を行う

(7) 図書館

- ① 予算措置の状況に合わせ、館内機能の変更、情報機器/機材の新規導入、卒業論文検索システムの改修・更新が直ちに出来るよう、調達仕様の精緻化や必要な規程・内規の改正等の検討を行う
- ② 引き続き、所蔵すべき資料の精査と整理作業を進め、未登録資料の取扱決定、未整理資料の再登録と登録情報の修正を行う
- ③ 老朽化している設備、機能を調査し、更新計画を策定するとともに、調達準備を進める。特に動作不良・誤作動が著しい盗難防止システムについては、重点的に更新を進める
- ④ 社会貢献活動の一環として、地域社会に開かれた図書館を目指す

(8) 子ども学園

指定障害福祉サービス事業所として、昨年度受審した第三者評価の結果も踏まえ、引き続き定員確保を図りつつ適正な事業運営、財政運営に努める

(9) 法人本部

① 財政運営

入学者の減少等のため、当面、厳しい財政事情が見込まれることから、支出についてはその重要性と優先順位、費用対効果を十分見極めその適正化に努める

そのため、業務の徹底的な効率化を推進し、ムダを省いた業務システムの構築、適正人員の配置と人件費の抑制を目指す

② 80周年記念事業

創立80周年記念事業については、80周年記念事業準備委員会の下に各記念事業ごとの小委員会を設け、具体的な事業内容の検討・実施に向けた作業を行う

③ 公式ホームページ

公式ホームページについては、トップページをリニューアルするほか、本学教員の研究シーズを紹介するコンテンツを作成するとともに、福祉のリーダーとして活躍している卒業生を紹介するコンテンツを拡充するなど、本学の魅力をより一層伝える内容に見直す

④ 職員研修制度

職員の資質の向上を図るため、Webセミナーを活用するなど研修制度の一層の充実等に努める

⑤ 裁量労働制

今後、教育職員について裁量労働制を採用する方向で関係者と協議を進める

⑥ 施設整備等

令和7年度(2025年度)当初予算(国・厚生労働省)においては、図書館棟外壁改修工事等のため約2億9800万円の施設整備費が計上されたほか、経営委託費の一部としてWIFI増設やPC更新費として約5100万円が計上された。

今後、国の2026年度予算編成に際しては、新たに策定した「中長期修繕計画」を基に、安全面で緊急性の高い施設・設備、劣化の著しい冷暖房施設、遅れているIT関連の施設・設備、老朽化した教室設備、照明のLED化、国際交流施設や学生寮、ラーニング・commonsなどの整備等を国に対し要望していくこととする

(参 考)

1 設置の場所

所在地	設置する学校等
東京都清瀬市竹丘三丁目1番30号	[清瀬キャンパス] 大学、大学院、通信教育科、社会事業研究所、附属図書館
東京都清瀬市梅園一丁目2番50号	附属実習施設子ども学園、寄宿舎（学生寮「松窓寮」）
東京都小平市花小金井四丁目39番10号	宿泊施設（招聘研究者用）
東京都文京区小石川五丁目10番12号	[文京キャンパス] 大学院（専門職）、各種講座

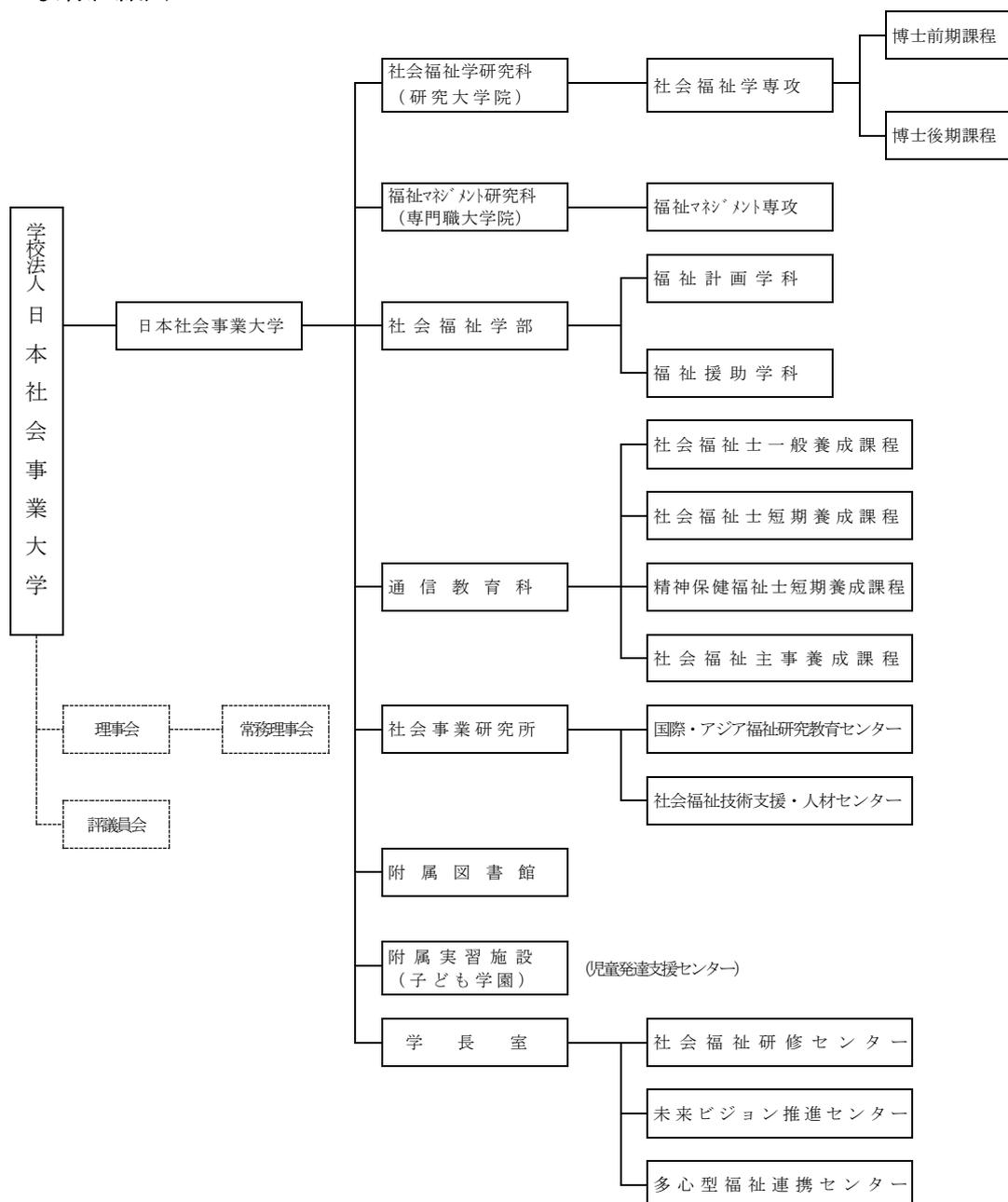
2 学生の修学年限・規模等

区分	学部・学科等		入学定員	修業年限	摘要	
大学	社会福祉学部	福祉計画学科	1年次入学	55人	4年	
			3年次編入学	10人	2年	
	福祉援助学科	1年次入学	105人	4年		
		3年次編入学	10人	2年		
大学院	福祉マネジメント研究科 (専門職大学院)	専門職学位課程	50人	1年	※長期履修生は2年	
		社会福祉学研究科 (研究大学院)	博士前期課程	15人		2年
			博士後期課程	5人	3年	
計（通学制）			入学定員：250人（収容定員：775人）			
通信教育科	社会福祉士一般養成課程		360人	1年6ヶ月		
	社会福祉士短期養成課程		140人	9ヶ月		
	精神保健福祉士短期養成課程		150人	9ヶ月		
	社会福祉主事養成課程		500人	1年		
計（通信制）			入学定員：1,150人			

3 授与する学位

大学	社会福祉学部	学士（社会福祉学）	
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	福祉マネジメント修士（専門職）	
	社会福祉学研究科 （研究大学院）	博士前期課程	修士（社会福祉学）
		博士後期課程	博士（社会福祉学）

4 教育組織図



5 主要事業実施日程

日 程	事 業 事 項
令和7年 4月 4日 (金)	入学式 (学部・大学院)
(2025年) 4月 5日 (土)	子ども学園入園式
5月 15日 (木)	法人監査
5月 下旬	評議員会、理事会 (事業報告・収支決算)
6月 21日 (土) ・ 22日 (日)	第63回社会福祉研究大会 (学内学会)
9月 25日 (木)	9月卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
10月 2日 (木)	総合型選抜 第1次選考
10月 2日 (木)	全学防災・避難訓練
10月 4日 (土)	大学院博士前期課程第Ⅰ期入学試験
10月 18日 (土)	総合型選抜 第2次選考
10月 25日 (土) 26日 (日)	大学祭
11月 1日 (土)	私費留学生選抜・3年次編入学選抜
11月 9日 (日)	創立記念日
11月 15日 (土)	学校推薦型選抜
11月 30日 (日)	専門職大学院第Ⅰ期入学試験
令和8年 1月 17日 (土) ・ 18日 (日)	大学入学共通テスト (会場：明治薬科大学)
(2026年) 1月 25日 (日)	専門職大学院第Ⅱ期入学試験
1月 下旬	第38回介護福祉士国家試験
2月 1日 (日)	一般選抜
2月 上旬	第38回社会福祉士国家試験
2月 上旬	第28回精神保健福祉士国家試験
2月 12日 (木)	大学院博士前期課程第Ⅱ期入学試験
2月 13日 (金)	大学院博士後期課程入学試験
2月 21日 (土)	専門職大学院第Ⅲ期入学試験
3月 7日 (土)	専門職大学院第Ⅳ期入学試験
3月 13日 (金)	卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
3月 20日 (木)	子ども学園卒園式
3月 下旬	評議員会、理事会 (事業計画・収支予算)

6 令和8年度入学者選抜の実施

項目		募集人員		出願期間		試験日	合格発表日	入学手続期間		
		福祉計画 学科	福祉援助 学科	自	至			自	至	
社会福祉学部	総合型選抜	9名	16名	9月12日(金)	9月22日(月)	10月2日(※) 10月18日(土)	10月10日(※) 11月4日(※)	11月4日(火)	11月14日(金)	
	私費留学生選抜	若干名		10月1日(水)	10月10日(金)	11月1日(土)	11月12日(水)	11月12日(木)	11月21日(金)	
	学校推薦型選抜	指定校推薦	20名	40名	11月4日(火)	11月10日(月)	11月15日(土)	12月1日(月)	12月1日(月)	12月10日(水)
		公募推薦								
	一般選抜	15名	30名	1月5日(月)	1月23日(金)	2月1日(日)	2月9日(月)	2月9日(月)	2月20日(金)	
	大学入学 共通テスト選抜	前期日程	9名	16名	1月5日(月)	1月23日(金)	-	2月6日(金)	2月6日(金)	2月20日(金)
		後期日程	2名	3名	2月2日(月)	2月18日(水)	-	3月4日(水)	3月4日(水)	3月9日(月)
合計	55名	105名								

項目			募集人員	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続期間	
				自	至			自	至
大学院	社会福祉学 研究科	前期第Ⅰ期	20名	9月8日(月)	9月19日(金)	10月4日(土)	10月15日(水)	10月15日(水)	10月24日(金)
		前期第Ⅱ期		12月22日(月)	1月9日(金)	2月12日(木)	2月25日(水)	2月25日(水)	3月6日(金)
		後期課程		12月22日(月)	1月9日(金)	2月13日(金)	2月25日(水)	2月25日(水)	3月6日(金)
専門職 大学院	福祉マネジメント 研究科	第Ⅰ期	50名	11月4日(火)	11月17日(月)	11月30日(日)	12月10日(水)	12月10日(水)	12月19日(金)
		第Ⅱ期		12月15日(月)	1月5日(月)	1月25日(日)	1月30日(金)	1月30日(金)	2月9日(月)
		第Ⅲ期		2月2日(月)	2月13日(金)	2月21日(土)	2月25日(水)	2月25日(水)	3月6日(金)
		第Ⅳ期		2月16日(月)	2月27日(金)	3月7日(土)	3月7日(土)	3月7日(土)	3月13日(金)

項目		募集人員	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
			自	至		自	至	
通信教育科	社会福祉士一般養成課程	第1期	360名	10月1日(水)	12月2日(火)	1月14日(水)	1月14日(水)	1月28日(水)
		第2期		12月3日(水)	1月26日(月)	2月18日(水)	2月18日(水)	3月3日(火)
		第3期		1月27日(火)	2月20日(金)	3月9日(月)	3月9日(月)	3月18日(水)
	社会福祉士短期養成課程	第1期	140名	10月1日(水)	12月2日(火)	1月14日(水)	1月14日(水)	1月28日(水)
		第2期		12月3日(水)	1月26日(月)	2月18日(水)	2月18日(水)	3月3日(火)
		第3期		1月27日(火)	2月20日(金)	3月9日(月)	3月9日(月)	3月18日(水)
	精神保健福祉士短期養成課程	第1期	150名	10月1日(水)	12月2日(火)	1月14日(水)	1月14日(水)	1月28日(水)
		第2期		12月3日(水)	1月26日(月)	2月18日(水)	2月18日(水)	3月3日(火)
		第3期		1月27日(火)	2月20日(金)	3月9日(月)	3月9日(月)	3月18日(水)
	社会福祉士専攻養成課程	第1期	500名	10月1日(水)	12月2日(火)	1月14日(水)	1月14日(水)	1月28日(水)
		第2期		12月3日(水)	1月26日(月)	2月18日(水)	2月18日(水)	3月3日(火)
		第3期		1月27日(火)	2月20日(金)	3月9日(月)	3月9日(月)	3月18日(水)

学長室の組織概要

